

各 位

上場会社名	共同ピーアール株式会社
代表者	代表取締役社長 上村 巍
(コード番号)	2436)
問合せ先責任者	経営企画室長 伊藤 誠
(TEL)	03-3571-5172)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年2月27日に公表した平成24年12月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成24年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,995	△17	△33	△44	△36.28
今回修正予想(B)	2,108	78	82	9	7.78
増減額(B-A)	113	96	116	54	
増減率(%)	5.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年12月期第2四半期)	1,972	15	18	△8	△7.17

平成24年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,253	68	56	0	0.00
今回修正予想(B)	4,287	163	169	48	38.95
増減額(B-A)	33	95	112	48	
増減率(%)	0.8	139.7	199.1	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年12月期)	4,328	168	171	57	46.26

平成24年12月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,733	△11	△24	△35	△28.96
今回修正予想(B)	1,886	80	84	12	10.04
増減額(B-A)	153	91	109	48	
増減率(%)	8.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年12月期第2四半期)	1,776	9	12	△9	△8.01

平成24年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,714	96	82	26	21.08
今回修正予想(B)	3,811	143	148	40	32.43
増減額(B-A)	97	47	65	14	
増減率(%)	2.6	50.0	78.8	53.8	
(ご参考)前期実績 (平成23年12月期)	3,877	150	152	46	37.61

## 修正の理由

### 【連結】

平成24年12月期 第2四半期累計期間における売上高につきましては、1,995百万円を予定しておりましたが、113百万円増の2,108百万円となる見込みであります。これは、特に共同ピーアール株式会社におきましてリテイナー、オプション&スポットの売上が堅調に推移したことが主な要因です。連結子会社4社につきましてもほぼ、想定通りの実績を残すことができました。結果として、前回公表数値を5.7%上回る売上高となりました。

営業損益、経常損益につきましては、それぞれ17百万円、33百万円の損失を予定しておりましたが、売上増とともに、引き続き経費削減に取り組んだ結果として、営業利益は96百万円増の78百万円、経常利益は116百万円増の82百万円となる見込みであります。

当期純損益につきましては、44百万円の損失を予定しておりましたが、営業利益、経常利益の増加に伴い、54百万円増の9百万円の利益となる見込みであります。

平成24年12月期 通期における売上高につきましては、4,253百万円を予定しておりましたが、33百万円増の4,287百万円となる見込みであります。これは、第2四半期累計期間における売上は堅調であったことを認識しつつ、引き続き景気動向や業界動向などに不透明感が残ることを勘案したものであります。

営業利益、経常利益につきましては、それぞれ68百万円、56百万円を予定しておりましたが、売上増とともに、営業利益は95百万円増の163百万円、経常利益は112百万円増の169百万円となる見込みであります。

当期純損益につきましては、0百万円を予定しておりましたが、48百万円増の48百万円の利益となる見込みであります。

### 【個別】

平成24年12月期第2四半期累計期間の売上高につきましては、1,733百万円を計画しておりましたが、153百万円増の1,886百万円となる見込みであります。この主な要因は、オプション&スポットについて官公庁や地方自治体などから想定以上の受注ができたこと、リテイナーについては堅調に契約を更新できたことなどによります。ペイドパブリシティに関しましては計画をやや下回る水準で推移いたしました、主力のリテイナーなどの売上増によりカバーし、前回公表数値を8.8%上回る売上高となりました。

営業損益、経常損益につきましては、それぞれ11百万円、24百万円の損失を予定しておりましたが、売上増に伴う各段階での利益の上昇や、引き続き経費削減に取り組んだ結果として、営業利益は91百万円増の80百万円、経常利益は109百万円増の84百万円となる見込みであります。

当期純損益につきましては、35百万円の損失を予定しておりましたが、営業利益、経常利益の増加に伴い、48百万円増の12百万円の利益となる見込みであります。

平成24年12月期 通期の売上高につきましては、3,714百万円を計画しておりましたが、97百万円増の3,811百万円となる見込みであります。これは、第2四半期累計期間における売上は堅調でありましたが、景気動向や業界動向などに不透明感が残ることから、オプション&スポットについての受注減等を勘案したものであります。

営業利益、経常利益につきましては、それぞれ96百万円、82百万円の利益を予定しておりましたが、営業利益は47百万円増の143百万円、経常利益は65百万円増の148百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、26百万円を予定しておりましたが、14百万円増の40百万円の利益となる見込みであります。

なお、平成24年12月期の中間配当につきましては、平成24年7月23日付け「剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」にて発表いたしましたように、当初の予定通り1株当たり15.00円とすることを決議しております。

### ■将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上